

**製品名: CHRNA2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81906**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CHRNA2
別名	CHRNA2
遺伝子 ID	1135.0
SwissProt ID	Q15822
免疫原	大腸菌で発現したヒト CHRNA2 (AA: 追加 27-264) の精製された組み換え断片。

**背景**

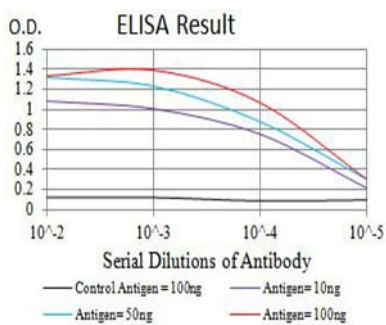
ニコチン性アセチルコリン受容体 (nAChR) は、 $\alpha$ サブユニットと  $\beta$ サブユニットが五量体構造を形成し、それぞれ異なる筋肉受容体と神経受容体を形成するリガンド依存性イオンチャネルです。神経受容体は末梢神経系と中枢神経系全体に存在し、高速シナプス

伝達に関与しています。この遺伝子は、脳で広く発現している  $\alpha$  サブユニットをコードしています。nAChR サブユニットの提案されている構造は、保存された N 末端細胞外ドメイン、それに続く 3 つの保存された膜貫通ドメイン、可変細胞質ループ、4 つ目の保存された膜貫通ドメイン、そして短い C 末端細胞外領域です。この遺伝子の変異は、常染色体優性遺伝性の夜間前頭葉てんかん 4 型を引き起こします。この遺伝子の一塩基多型 (SNP) は、ニコチン依存症と関連付けられています。

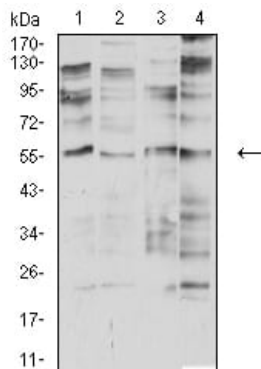
## 研究分野

-

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



SK-N-SH (1)、SH-SY5Y (2)、C6 の膜タンパク質 (3)、および SW480 (4) 細胞溶解物に対する CHRNA2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。